

令和4年度 総合政策部の施策

昨年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の流行により、道民の皆様の暮らしや経済に様々な影響が生じた一方で、コロナ禍を契機とした人々の意識や行動の変化により、これまで本道のハンディとみなされてきた広域分散型の地域構造や首都圏からの距離の遠さといった特性が新たな強みとして再認識されたほか、デジタル化や脱炭素化といった社会変革の動きが本格化した一年でした。

道としては、こうした動きの中、国や市町村、医療機関等の皆様と緊密に連携しながら、総力を挙げて感染症対策に対応するとともに、近年、激甚化、頻発化する自然災害等に備えるなど、強靱な北海道づくりに取り組みます。また、今後、ウィズコロナからポストコロナへと段階的な変化が進む中、局面を的確に捉え、異なる政策をかけあわせるなど本道が持つポテンシャルを最大限に発揮できるよう施策を展開していきます。

総合政策部では、『道民の命と暮らし』を守る感染症に強い安全安心な地域づくり、『本道の強み』を活かした先進的な取組への挑戦』の視点に立ち、各部との連携を密にしながら、施策推進に向けて取り組んでいきます。

- 道の重要政策の総合的な企画・調整を行うとともに、「第2期北海道創生総合戦略」や「北海道強靱化計画」、「北海道 SDGs 推進ビジョン」等の着実な推進、土地水対策の推進等により、北海道のめざす姿「輝きつづける北海道」の実現を目指します。
- 政策の企画・立案の基礎となる各種統計や道政に対する要望等を把握するとともに、道政への理解や参加を促進するため、道政情報等の積極的な発信に取り組むなど、開かれた道政の推進を目指します。
- 「世界の中の北海道」という視点に基づき、市町村や国際交流団体、関係団体、企業などと連携を図りながら、姉妹友好地域等との経済・教育・文化といった幅広い分野での交流や多文化共生の取組など、国際社会との連携・交流の拡大を目指します。
- 「北海道 Society5.0」の実現に向けた取組・道庁のデジタル化やシームレス交通の実現に向けた取組をはじめとする総合交通対策及び交通・物流ネットワークの構築、航空ネットワークの充実・強化に資する取組を推進するとともに、科学技術の振興など安心して暮らせる基盤・環境の整備や経済の活性化・自立化に寄与することを目指します。
- 「ほっかいどう応援団会議」などを通じた官民連携の推進、振興局を拠点とする地域の特性を活かした地域づくり、新しい働き方として注目されているワーケーションの推進や移住・定住の支援等を行うとともに、市町村行財政の効率的な執行に向けた助言や広域連携と地方分権の一体的な推進など、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を目指します。